

「オール大阪」で前進



元女性府議

決着済みの「都構想」に、再びばく大なエネルギーと経費を費やせば、大阪は確実に停滞します。「住みたい、働きたい」と思える大阪を、話し合いを通じてつくっていきます。



元市議団幹事長

「都構想」の賛否で二分された市民を一つにまとめ、「愛する大阪市」に全力。「オール大阪」で創造的改革を。

市民
そして

「水」と「油」と言われる自民党と共産党が

「維新政治ノ」で共同、勝利した市で変化



国民健康保険

- 保険料6年連続値下げ(堺市)
- 4年間で26000円 保険料値下げ(貝塚市)
- 国保料値下げ(寝屋川)



保育・幼稚園

- 保育料軽減(寝屋川市)
年少扶養控除の廃止による値上がり分を市で負担し値上げストップ

高齢者の外出支援

- お出かけ応援バスの拡充(堺市)



医療

- 市立病院を充実(岸和田市)
閉鎖されていた産科を9年ぶりに再開
- 市民病院で24時間365日体制で質の高い救急医療を提供。3次救急も(堺市)



識者
から

首長は政党の代表でなく、全住民の代表

国政で対立している政党が首長選挙で協力するのは、問題ではなく、逆に好ましい場合もあります。首長は政党の代表でも、自分の支持者だけの代表でもありません。全住民の意見を考慮しなければならないのです。

(10月25日付「大阪民主新報」で帝塚山学院大学教授・薬師院仁志さん)

4野党
で

願い実現への共同が前進

住民投票では自民、公明、民主、共産の四党が公報を共同で作成。「旧WTCビルなどはバブル期の政策の失敗」と明記。「サービス低下の「都構想」に反対」と記載。まともな政治に向けた共同が進んでいます。

ムダな二重行政はありません

- 病院、大学、高校、美術館、博物館…二重行政ですか？ いませんか？
- 大阪市をなくさないで解消できないような二重行政はありません。

例 りんくうゲートタワーとWTCは、バブル期の政策の失敗です。

例 りんくうゲートタワーとWTCは、バブル期の政策の失敗です。

大阪市住民投票の公報

政党
から

思想信条をこえた協調は、特殊でない

- 民主主義を軽んじ、対立を煽るばかりの「維新政治からの脱却」を徹底して訴えて参りました。地方自治においては、各党が思想信条を超えて協調をはかることは特殊なことではありません。

(自民党大阪府連HPから)

- 大阪維新には他県にない異質な危険があります。維新政治に終止符を、民主主義と自治を取り戻そうの一点で力を合わせている。大義あるたたかいです。

(日本共産党志位委員長)

